

## パンチ工業 (6165)

連結通期 (百万円)		売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	EPS (円)	DPS (円)	BPS (円)
FY03/2020		35,348	835	712	(3,485)	(160.01)	2.00	536.64
FY03/2021		32,462	1,613	1,676	477	21.90	2.00	568.26
FY03/2022会予		36,500	2,200	2,150	1,450	66.46	8.00	-
FY03/2021	前年比	(8.2%)	93.0%	135.1%	-	-	-	-
FY03/2022会予	前年比	12.4%	36.4%	28.2%	203.5%	-	-	-
連結半期 (百万円)		売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	EPS (円)	DPS (円)	BPS (円)
1Q-2Q FY03/2021		15,412	313	372	(544)	-	-	-
3Q-4Q FY03/2021		17,049	1,300	1,303	1,021	-	-	-
1Q-2Q FY03/2022会予		18,800	1,200	1,180	770	-	-	-
3Q-4Q FY03/2022会予		17,700	1,000	970	680	-	-	-
1Q-2Q FY03/2022会予	前年比	22.0%	283.2%	216.6%	-	-	-	-
3Q-4Q FY03/2022会予	前年比	3.8%	(23.1%)	(25.6%)	(33.5%)	-	-	-

出所: 会社データ、弊社計算

### 1.0 エグゼクティブサマリー (2021年7月5日)

#### 成長フェーズの始まり

金型用部品の生産・販売を内外で展開するパンチ工業の業績推移が成長フェーズに入りつつある模様である。過去3年間における減損処理に伴う減価償却費の減額が発生している一方、新型コロナウイルス感染症の影響が減衰し始めていることから需要の回復が引き続いている。2021年3月期の実績においては、中国における売上高（構成比 52.0%）が第2四半期より前年同期を上回り始めており、第4四半期に至っては前年同期に対して増収率 10.9%が達成されている。一方、日本における売上高（構成比 38.0%）は、第2四半期に大底を打っているとされており、第3四半期及び第4四半期に向けて回復基調が引き続いている。以上を考慮に入れた2022年3月期に対する会社予想（開示: 2021年5月13日）においては、下半期に対して一定のリスク要因が織り込まれているのだが、通期を通して増収率 12.4%が達成されることが見込まれている。中国での増収率が加速する一方、日本においては着実な増収が達成されることが織り込まれている模様である。そして、同社は、外部環境の変化に負けない強靱な経営体質を構築すべく、営業戦略や製造戦略の再構築に取り組んでおり、短期的な固定費削減などによる縮小均衡ではなく、代表取締役である森久保哲司氏を中心とする経営陣による指揮の下で全社員が一丸となって持続的に利益を出し続けられる仕組みをつくり、中長期的な企業価値の向上を目指しているとのことである。

IR 窓口: 経営管理室 広報課長 松田 隼人 (03-5753-3130 / [info-corp@punch.co.jp](mailto:info-corp@punch.co.jp))

## 2.0 会社概要

### 金型用部品の生産・販売を内外で展開

商号	パンチ工業株式会社 <a href="#">Web サイト</a> <a href="#">IR 情報</a> <a href="#">最新株価</a>	
設立年月日	1975年3月29日	
上場年月日	2014年3月14日：東京証券取引所第1部（証券コード：6165） 2012年12月20日：東京証券取引所第2部	
資本金	2,897百万円（2021年3月末）	
発行済株式数	22,122,400株、自己株式内数 303,406株（2021年3月末）	
特色	<ul style="list-style-type: none"><li>● 中国でダントツの市場シェア、グローバルベースでも最大級</li><li>● 顧客数 15,000社（日本で6,000社、中国で8,000社、その他で1,000社）</li><li>● 高付加価値の戦略製品に注力</li></ul>	
セグメント	I. 金型用部品事業	
代表者	代表取締役 社長執行役員 CEO：森久保 哲司	
主要株主	エム・ティ興産 17.44%、カセイスバンクジャーマニーカスタマーアカウント 11.06% （2021年3月末、自己株式を除く）	
本社	東京都品川区	
従業員数	連結 4,006名、単体 954名（2021年3月末）	

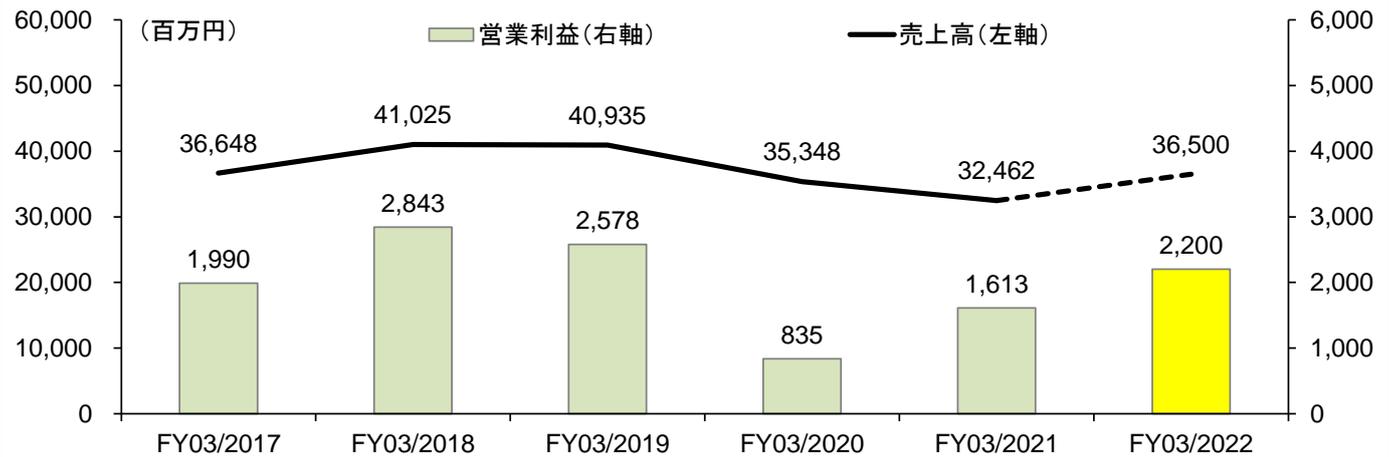
出所：会社データ

### 3.0 業績推移

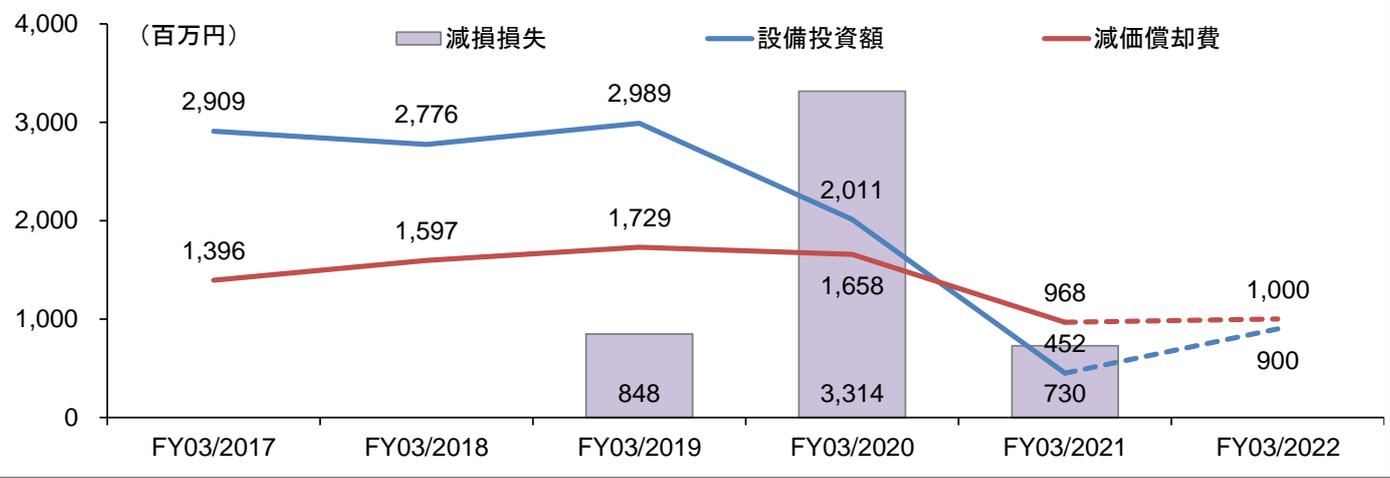
#### 2021年3月期

2021年3月期は、売上高 32,462 百万円（前年比 8.2%減）、営業利益 1,613 百万円（93.0%増）、経常利益 1,676 百万円（135.1%増）、親会社株主に帰属する当期純利益 477 百万円（前年：▲3,485 百万円）での着地である。また、営業利益率 5.0%（2.6%ポイント上昇）である。一方、売上総利益 9,086 百万円（1.1%減）、販売管理費 7,473 百万円（10.5%減）であり、売上総利益率 28.0%（2.0%ポイント上昇）、売上高販売管理費率 23.0%（0.6%ポイント低下）である。

#### 売上高と営業利益



#### 設備投資額と減価償却費及び減損損失

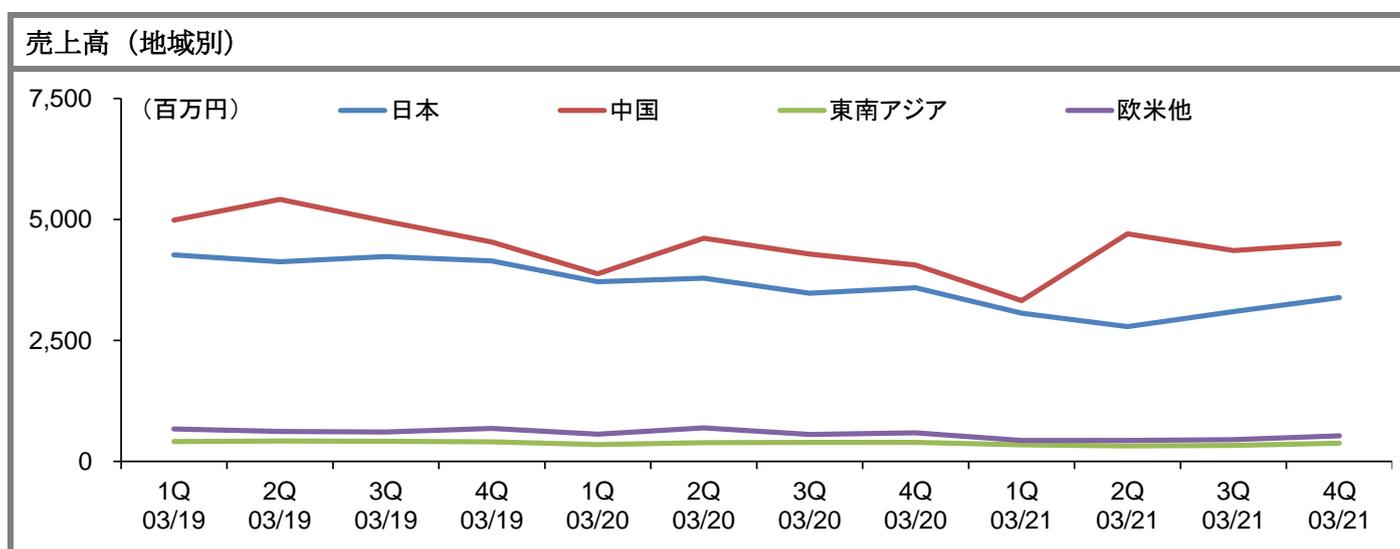


出所：会社データ、弊社計算

減収を余儀なくされつつも大幅な増益が達成されている背景として挙げられているのは、減損損失の計上に際して減価償却費の減額が発生していることである。2016年10月に本格稼働が開始されているベトナム工場では、当初の想定との比較で生産性の向上が遅れたことに鑑みて、同社は、2019年3月期に対して減損損失 848 百万円を計上している。また、2020年3月期においては米中貿易摩擦による影響が大きくなったことを受けてベトナム工場に係る更なる減損処理が行われていることに加えて、東南アジアグループのれん等並びに国内の北上工場や宮古工場でも減損処理が行われており、総計で減損損失 3,314 百万円が計上されている。

そして、2021年3月期第2四半期末においては、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う日本における特注品に対する需要の減少を受けて、日本国内における固定資産に対して減損処理が行われている。西日本の生産拠点である兵庫工場を中心とした国内工場総計で減損損失217百万円が計上されていることに加えて、研究開発部門などで減損損失471百万円が計上されている。併せて、減損損失689百万円が計上されている一方、通期の総計としては減損損失730百万円が計上されている。

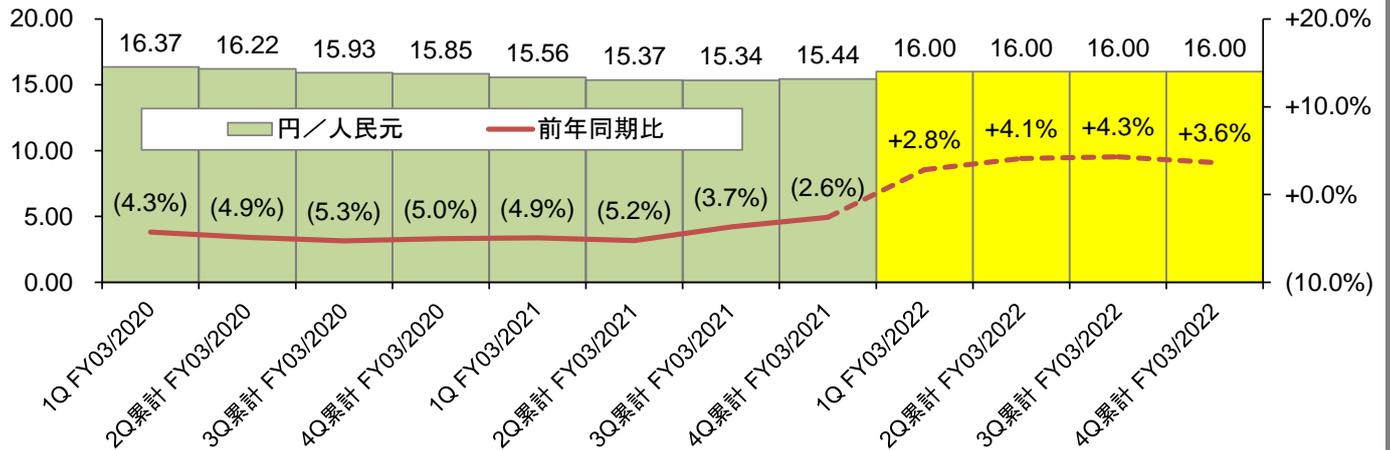
上述の売上総利益（売上原価）及び販売管理費の動向においては、こういった減損処理に呼応する分だけ減価償却費の減額が発生していることが大きな影響を及ぼしているとのことである。特に売上総利益（売上原価）に対する影響が大きかったとされている。また、同社が注力し始めている「経営革新プロジェクト」の効果が一部で既に発生しており、これも売上原価の低減に寄与しているとのことである。一方、販売管理費においては、グループ全体として経費の抑制に努めた成果が表れているとのことである。特に、人件費の削減幅が大きかったとされている。更には、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、出張費などが減少したことも販売管理費の減少に寄与しているとのことである。



出所：会社データ、弊社計算

日本で売上高12,338百万円（15.3%減）、中国で売上高16,888百万円（0.3%増／現地通貨ベースで3.1%増）、東南アジアで売上高1,376百万円（10.3%減）、欧米他で売上高1,858百万円（22.9%減）である。また、日本で売上高構成比38.0%、中国で売上高構成比52.0%と、同社としての売上高は日本及び中国での売上高（併せて構成比90.0%）に依存して推移する側面が大きい。

## 人民元に対する円の為替レート

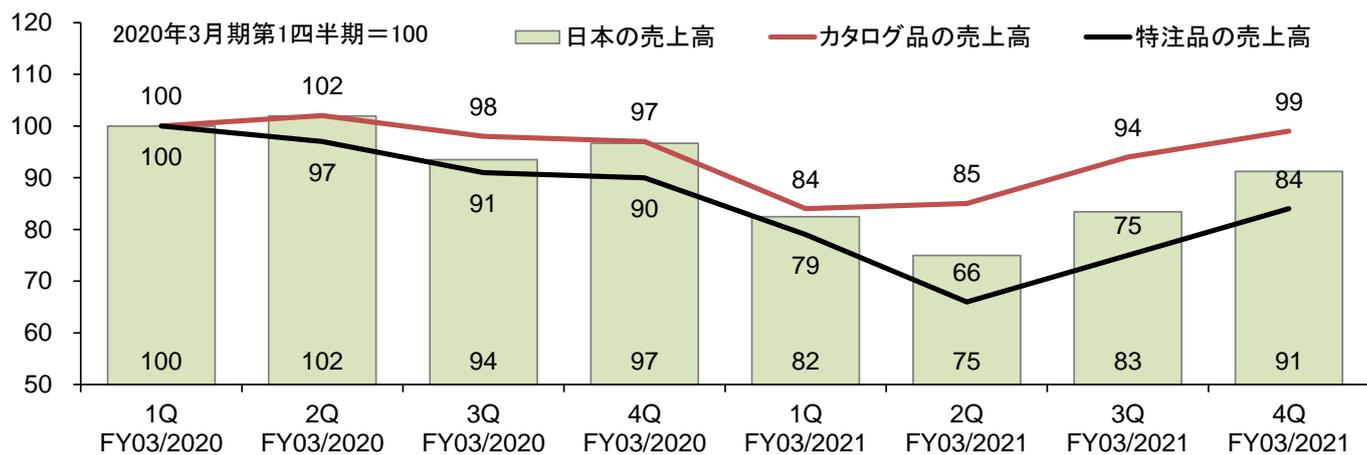


出所：会社データ、弊社計算

同社としての売上高が伸び悩んだ主因として挙げられているのは、新型コロナウイルス感染症の影響であるが、いち早く経済活動が再開されている中国では、人民元に対する円高（2.6%）による影響をこなして微増収が達成されている。第1四半期においては前年同期に対して増収率▲14.3%と、新型コロナウイルス感染症の影響が大きくなっているのだが、第2四半期で増収率2.0%、第3四半期で増収率1.7%、第4四半期で増収率10.9%と、年度末に向けて第1四半期における減収を十二分に補う増収が発生している。

中国における業種別での売上高の推移という観点においては、「電子部品／半導体」が特に好調な推移を示したとされており、これが中国での売上高に大きく寄与しているとのことである。更には、「家電／精密機器」による寄与も認められるとのことである。なお、現地の子会社の決算期末が12月であることから、同社の損益計算書における中国での売上高は3ヵ月遅れで反映される。同社が示唆するところによれば、2021年1月～3月の中国における売上高は引き続き好調に推移した一方、これが2022年3月期第1四半期（4-6月）における同社としての業績推移に反映されるとのことである。また、2022年3月期に対する会社予想（開示：2021年5月13日）の前提においては、人民元に対する円安（3.6%）が織り込まれており、現地通貨ベースとの比較でこの分だけ増収率が大きくなる模様である。そして、中国での増収が同社としての増収に対して最も大きく寄与することが織り込まれている模様である。

## 日本の売上高／カタログ品と特注品の指数



出所：会社データ、弊社計算

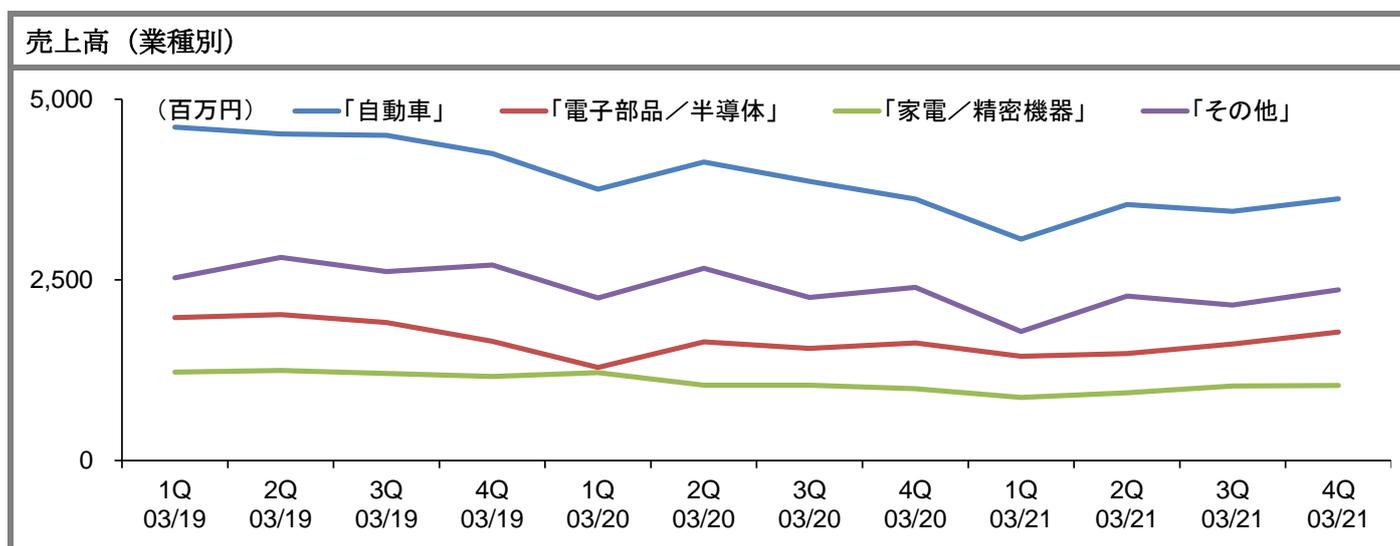
日本においては、通期での推移において大幅な減収を余儀なくされているのだが、第2四半期を大底として、やや勢いは弱いものの、売上高は回復傾向にあるとされている。日本における業種別での売上高の推移という観点においては、「自動車」が低迷したことが通期での減収に大きな影響を及ぼしたとのことである。

第2四半期においては、特注品（個々の顧客のそれぞれの金型のスペックに対応して設計及び生産されるカスタム製品）の売上高が大きく落ち込んでいる。2020年3月期第1四半期における売上高の水準を指数化して100とした場合、2021年3月期第2四半期における同社としての日本の売上高の指数が75であるのに対して、カタログ品（インターネットなど活用を通して販売する標準製品）で売上高の指数が85である一方、特注品では売上高の指数が66まで急落している。また、特注品は、カタログ品との比較でかなり売上総利益率が高いとされており、損益面では売上高以上に大きなインパクトが発生しているとのことである。即ち、同社としての売上総利益が大きく毀損されたとのことである。上述の通り、これが第2四半期末に実施されている減損処理の背景となっている。ただし、第3四半期及び第4四半期に向けての推移において特注品の売上高は回復を続けており、第4四半期には売上高の指数で84まで回復している。同社によれば、「ものづくり」需要の回復に伴い、同社における特注品の受注環境が大きく改善したとのことである。

日本でも海外でも、同社が生産・販売する金型用部品は、文字通り金型の部品として金型メーカーに納入されている。また、同社の納入先である金型メーカーは、「自動車」、「電子部品／半導体」、「家電／精密機器」、「その他」といった業種に属する製造業が製造するあらゆる最終製品に対して金型を提供している。従って、こういった多岐に渡る最終製品の生産数量や新製品の開発状況などが、同社が生産・販売する金型用部品への需要を決定する度合いが大きい模様である。また、同社が、グローバルベースでも最大級の金型用部品メーカーであることに鑑みれば、同社の金型用部品に対する需要は、グローバルベースでの全般的な市場動向によるところが大きくなるを得ない側面がある模様である。ただし、高精度の金型用部品に深く関与している同社においては、特に当該分野における市場動向が大きな影響を及ぼすとされている。金型には、ローエンドからハイエンドまで様々な階層の製品があるとされており、金型用部品に関しても同様とのことである。

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化していた日本においては、上述の様な市場要因の悪化に伴う減収に加えて、一時的な現象に終わったものの、ある意味では構造的とも言える減収要因が発生している。即ち、同社の納入先である金型メーカーの一部が、同社への特注品の発注を廃して内製化を進める局面があったとのことである。高精度が要求されることが多い特注品に関しては、独自のノウハウを有する同社に発注することが、納入先の金型メーカーにおけるコストパフォーマンスの最大化をもたらす、という事実に変化は起こっていないのだが、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化していることに伴い、自社の設備の稼働率が低迷を続けていた金型メーカーの一部においては、特注品に関して同社への発注から自社の設備による生産へとシフトが進められた局面があったとのことである。

前者から後者へのシフトには、納入先の金型メーカーにとって非効率な方向へのシフトに他ならない側面があるのだが、後者においては自社の設備の稼働率を引き上げることができる利点があり、これがより重要視された模様とのことである。ただし、市場動向の回復を受けて自社の設備の稼働率も回復したことを受けて、改めて効率的な同社への発注へと舵が切られるに至っているとのことである。また、こういった背景もあってか、2022年3月期に対する会社予想の前提においては、日本での増収が同社としての増収に対して一定水準以上に及ぶ寄与をもたらすことが織り込まれている模様である。



出所：会社データ、弊社計算

また、2021年3月期における業種別では、「自動車」で売上高 13,682 百万円（11.0%減）、「電子部品／半導体」で売上高 6,315 百万円（3.3%増）、「家電／精密機器」で売上高 3,888 百万円（9.5%減）、「その他」で売上高 8,574 百万円（10.4%減）である。「電子部品／半導体」が増収を確保した背景として挙げられているのは、地域別で主力となる日本及び中国の両方における売上高が好調に推移したことである。日本ではノート PC に関連した需要が堅調に推移した一方、中国においては 5G（第 5 世代移動通信システム）に関連した需要が順調な拡大傾向を示したとのことである。ただし、売上高構成比 41.2%と、業種別で最大の「自動車」の売上高の低迷が同社としての売上高の低迷に大きな影響を及ぼしたとのことである。日本でも中国でも自動車の生産台数が伸び悩んだとされている。

一方、同社は過去 3 年間連続して減損損失を計上しているものの、2021年3月期末においては、総資産 24,702 百万円に対して自己資本 12,398 百万円（自己資本比率 50.2%）、ネット資金▲905 百万円と、財務の安定性を維持している。ネット資金に関しては、売掛債権の回収などを通じた運転資金の削減並びに設備投資の抑制をもって、2020年3月期末との比較で 2,159 百万円に及んで改善しているとのことである。

## 2021年3月期に対する会社予想と実績

連結通期 (百万円)	発表日	イベント	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益
FY03/2021会予	2020年5月22日	4Q決算発表	33,100	1,200	1,100	620
FY03/2021会予	2020年8月7日	1Q決算発表	33,100	1,200	1,100	620
FY03/2021会予	2020年11月11日	2Q決算発表	31,400	860	850	(380)
		増減額	(1,700)	(340)	(250)	(1,000)
		増減率	(5.1%)	(28.3%)	(22.7%)	-
FY03/2021会予	2021年2月10日	3Q決算発表	32,000	1,380	1,430	170
		増減額	600	520	580	550
		増減率	1.9%	60.5%	68.2%	-
FY03/2021会予	2021年3月24日	業績予想修正	32,450	1,550	1,600	400
		増減額	450	170	170	230
		増減率	1.4%	12.3%	11.9%	135.3%
FY03/2021実績	2021年5月13日	4Q決算発表	32,462	1,613	1,676	477
		増減額	12	63	76	77
		増減率	0.0%	4.1%	4.8%	19.3%
FY03/2021会予	2020年5月22日	4Q決算発表	33,100	1,200	1,100	620
FY03/2021実績	2021年5月13日	4Q決算発表	32,462	1,613	1,676	477
		増減額	(638)	413	576	(143)
		増減率	(1.9%)	34.4%	52.4%	(23.1%)
連結半期 (百万円)	発表日	イベント	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益
1Q-2Q FY03/2021会予	2020年5月22日	4Q決算発表	15,830	330	300	50
1Q-2Q FY03/2021会予	2020年8月7日	1Q決算発表	15,830	330	300	50
1Q-2Q FY03/2021実績	2020年11月11日	2Q決算発表	15,412	313	372	(544)
		増減額	(418)	(17)	72	(594)
		増減率	(2.6%)	(5.2%)	24.0%	-
1Q-2Q FY03/2021会予	2020年5月22日	4Q決算発表	15,830	330	300	50
1Q-2Q FY03/2021実績	2020年11月11日	2Q決算発表	15,412	313	372	(544)
		増減額	(418)	(17)	72	(594)
		増減率	(2.6%)	(5.2%)	24.0%	-
連結半期 (百万円)	発表日	イベント	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益
3Q-4Q FY03/2021会予	2020年5月22日	4Q決算発表	17,270	870	800	570
3Q-4Q FY03/2021会予	2020年8月7日	1Q決算発表	17,270	870	800	570
3Q-4Q FY03/2021会予	2020年11月11日	2Q決算発表	15,988	547	478	164
		増減額	(1,282)	(323)	(322)	(406)
		増減率	(7.4%)	(37.1%)	(40.3%)	(71.2%)
3Q-4Q FY03/2021会予	2021年2月10日	3Q決算発表	16,588	1,067	1,058	714
		増減額	600	520	580	550
		増減率	3.8%	95.1%	121.3%	335.4%
3Q-4Q FY03/2021会予	2021年3月24日	業績予想修正	17,038	1,237	1,228	944
		増減額	450	170	170	230
		増減率	2.7%	15.9%	16.1%	32.2%
3Q-4Q FY03/2021実績	2021年5月13日	4Q決算発表	17,050	1,300	1,304	1,021
		増減額	12	63	76	77
		増減率	0.1%	5.1%	6.2%	8.2%
3Q-4Q FY03/2021会予	2020年5月22日	4Q決算発表	17,270	870	800	570
3Q-4Q FY03/2021実績	2021年5月13日	4Q決算発表	17,050	1,300	1,304	1,021
		増減額	(220)	430	504	451
		増減率	(1.3%)	49.4%	63.0%	79.1%

出所：会社データ、弊社計算

## 損益計算書（四半期累計／四半期）

損益計算書 (百万円)	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	前年比 純増減
	1Q 03/2020	2Q累計 03/2020	3Q累計 03/2020	4Q累計 03/2020	1Q 03/2021	2Q累計 03/2021	3Q累計 03/2021	4Q累計 03/2021		
<b>売上高</b>	<b>8,511</b>	<b>17,991</b>	<b>26,711</b>	<b>35,348</b>	<b>7,169</b>	<b>15,412</b>	<b>23,658</b>	<b>32,462</b>		<b>(2,886)</b>
売上原価	6,363	13,577	20,067	26,161	5,315	11,413	17,206	23,375		(2,785)
売上総利益	2,148	4,413	6,644	9,187	1,853	3,999	6,452	9,086		(100)
販売費及び一般管理費	2,177	4,333	6,402	8,351	1,828	3,685	5,519	7,473		(878)
<b>営業利益</b>	<b>(29)</b>	<b>80</b>	<b>241</b>	<b>835</b>	<b>24</b>	<b>313</b>	<b>932</b>	<b>1,613</b>		<b>+777</b>
営業外損益	(60)	(77)	(56)	(122)	(18)	59	72	63		+186
<b>経常利益</b>	<b>(90)</b>	<b>2</b>	<b>184</b>	<b>712</b>	<b>6</b>	<b>372</b>	<b>1,005</b>	<b>1,676</b>		<b>+963</b>
特別損益	(5)	(6)	(2,121)	(3,332)	(13)	(703)	(719)	(662)		+2,670
税金等調整前純利益	(95)	(3)	(1,936)	(2,619)	(7)	(331)	285	1,014		+3,633
法人税等合計	30	117	776	866	67	212	365	535		(330)
非支配株主に帰属する純利益	0	0	0	0	0	1	0	1		+0
<b>親会社株主に帰属する当期純利益</b>	<b>(126)</b>	<b>(121)</b>	<b>(2,713)</b>	<b>(3,485)</b>	<b>(76)</b>	<b>(544)</b>	<b>(80)</b>	<b>477</b>		<b>+3,963</b>
売上高伸び率	(17.7%)	(14.1%)	(14.3%)	(13.6%)	(15.8%)	(14.3%)	(11.4%)	(8.2%)		-
営業利益伸び率	-	(94.2%)	(88.9%)	(67.6%)	-	+290.5%	+286.0%	+93.0%		-
経常利益伸び率	-	(99.8%)	(91.4%)	(72.0%)	-	-	+443.5%	+135.1%		-
親会社株主に帰属する当期純利益伸び率	-	-	-	-	-	-	-	-		-
売上総利益率	25.2%	24.5%	24.9%	26.0%	25.9%	25.9%	27.3%	28.0%		+2.0%
売上高販売管理費率	25.6%	24.1%	24.0%	23.6%	25.5%	23.9%	23.3%	23.0%		(0.6%)
営業利益率	(0.3%)	0.4%	0.9%	2.4%	0.3%	2.0%	3.9%	5.0%		+2.6%
経常利益率	(1.1%)	0.0%	0.7%	2.0%	0.1%	2.4%	4.2%	5.2%		+3.1%
親会社株主に帰属する当期純利益率	(1.5%)	(0.7%)	(10.2%)	(9.9%)	(1.1%)	(3.5%)	(0.3%)	1.5%		+11.3%
法人税等合計／税金等調整前純利益	-	-	-	-	-	-	128.0%	52.8%		-

損益計算書 (百万円)	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	前年比 純増減
	1Q 03/2020	2Q 03/2020	3Q 03/2020	4Q 03/2020	1Q 03/2021	2Q 03/2021	3Q 03/2021	4Q 03/2021		
<b>売上高</b>	<b>8,511</b>	<b>9,480</b>	<b>8,720</b>	<b>8,636</b>	<b>7,169</b>	<b>8,243</b>	<b>8,245</b>	<b>8,803</b>		<b>+166</b>
売上原価	6,363	7,214	6,489	6,093	5,315	6,097	5,792	6,168		+75
売上総利益	2,148	2,265	2,230	2,543	1,853	2,145	2,453	2,634		+91
販売費及び一般管理費	2,177	2,156	2,068	1,949	1,828	1,857	1,833	1,954		+5
<b>営業利益</b>	<b>(29)</b>	<b>109</b>	<b>161</b>	<b>593</b>	<b>24</b>	<b>288</b>	<b>619</b>	<b>680</b>		<b>+86</b>
営業外損益	(60)	(16)	20	(65)	(18)	78	12	(9)		+56
<b>経常利益</b>	<b>(90)</b>	<b>93</b>	<b>182</b>	<b>527</b>	<b>6</b>	<b>366</b>	<b>632</b>	<b>671</b>		<b>+143</b>
特別損益	(5)	(0)	(2,115)	(1,211)	(13)	(690)	(16)	57		+1,268
税金等調整前純利益	(95)	92	(1,932)	(683)	(7)	(323)	616	728		+1,411
法人税等合計	30	87	658	89	67	144	153	170		+80
非支配株主に帰属する純利益	0	(0)	0	(0)	0	0	(0)	0		+0
<b>親会社株主に帰属する当期純利益</b>	<b>(126)</b>	<b>5</b>	<b>(2,592)</b>	<b>(772)</b>	<b>(76)</b>	<b>(468)</b>	<b>463</b>	<b>558</b>		<b>+1,330</b>
売上高伸び率	(17.7%)	(10.5%)	(14.7%)	(11.6%)	(15.8%)	(13.1%)	(5.4%)	+1.9%		-
営業利益伸び率	-	(83.4%)	(80.0%)	+49.6%	-	+163.1%	+283.8%	+14.5%		-
経常利益伸び率	-	(85.8%)	(77.7%)	+35.9%	-	+293.8%	+247.3%	+27.1%		-
親会社株主に帰属する当期純利益伸び率	-	(99.0%)	-	-	-	-	-	-		-
売上総利益率	25.2%	23.9%	25.6%	29.4%	25.9%	26.0%	29.7%	29.9%		+0.5%
売上高販売管理費率	25.6%	22.7%	23.7%	22.6%	25.5%	22.5%	22.2%	22.2%		(0.4%)
営業利益率	(0.3%)	1.2%	1.9%	6.9%	0.3%	3.5%	7.5%	7.7%		+0.8%
経常利益率	(1.1%)	1.0%	2.1%	6.1%	0.1%	4.4%	7.7%	7.6%		+1.5%
親会社株主に帰属する当期純利益率	(1.5%)	0.1%	(29.7%)	(8.9%)	(1.1%)	(5.7%)	5.6%	6.3%		+15.3%
法人税等合計／税金等調整前純利益	-	94.5%	-	-	-	-	24.9%	23.4%		-

出所：会社データ、弊社計算

地域別売上高（四半期累計／四半期）

地域別売上高 (百万円)	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	前年比 純増減
	1Q 03/2020	2Q累計 03/2020	3Q累計 03/2020	4Q累計 03/2020	1Q 03/2021	2Q累計 03/2021	3Q累計 03/2021	4Q累計 03/2021		
日本	3,715	7,501	10,975	14,565	3,063	5,850	8,950	12,338	(2,227)	
中国	3,879	8,490	12,777	16,836	3,325	8,025	12,385	16,888	+52	
東南アジア	352	744	1,142	1,535	344	665	997	1,376	(159)	
欧米他	563	1,255	1,816	2,410	436	871	1,325	1,858	(552)	
<b>売上高</b>	<b>8,511</b>	<b>17,991</b>	<b>26,711</b>	<b>35,348</b>	<b>7,169</b>	<b>15,412</b>	<b>23,658</b>	<b>32,462</b>	<b>(2,886)</b>	
日本	(13.0%)	(10.7%)	(13.1%)	(13.2%)	(17.6%)	(22.0%)	(18.5%)	(15.3%)	-	
中国	(22.1%)	(18.4%)	(16.8%)	(15.4%)	(14.3%)	(5.5%)	(3.1%)	+0.3%	-	
東南アジア	(14.7%)	(11.5%)	(9.4%)	(8.1%)	(2.4%)	(10.6%)	(12.7%)	(10.3%)	-	
欧米他	(16.4%)	(3.0%)	(4.7%)	(6.9%)	(22.6%)	(30.7%)	(27.0%)	(22.9%)	-	
<b>売上高(前年比)</b>	<b>(17.7%)</b>	<b>(14.1%)</b>	<b>(14.3%)</b>	<b>(13.6%)</b>	<b>(15.8%)</b>	<b>(14.3%)</b>	<b>(11.4%)</b>	<b>(8.2%)</b>	-	
日本	43.6%	41.7%	41.1%	41.2%	42.7%	38.0%	37.8%	38.0%	-	
中国	45.6%	47.2%	47.8%	47.6%	46.4%	52.1%	52.3%	52.0%	-	
東南アジア	4.1%	4.1%	4.3%	4.3%	4.8%	4.3%	4.2%	4.2%	-	
欧米他	6.6%	7.0%	6.8%	6.8%	6.1%	5.7%	5.6%	5.7%	-	
<b>売上高(構成比)</b>	<b>100.0%</b>	<b>100.0%</b>	<b>100.0%</b>	<b>100.0%</b>	<b>100.0%</b>	<b>100.0%</b>	<b>100.0%</b>	<b>100.0%</b>	-	
地域別売上高 (百万円)	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	前年比 純増減
1Q 03/2020	2Q 03/2020	3Q 03/2020	4Q 03/2020	1Q 03/2021	2Q 03/2021	3Q 03/2021	4Q 03/2021			
日本	3,715	3,786	3,474	3,590	3,063	2,786	3,099	3,388	(202)	
中国	3,879	4,610	4,287	4,059	3,325	4,700	4,360	4,503	+444	
東南アジア	352	391	397	393	344	321	331	379	(14)	
欧米他	563	692	560	594	436	434	454	532	(62)	
<b>売上高</b>	<b>8,511</b>	<b>9,480</b>	<b>8,720</b>	<b>8,636</b>	<b>7,169</b>	<b>8,243</b>	<b>8,245</b>	<b>8,803</b>	<b>+166</b>	
日本	(13.0%)	(8.3%)	(17.9%)	(13.3%)	(17.6%)	(26.4%)	(10.8%)	(5.6%)	-	
中国	(22.1%)	(14.9%)	(13.6%)	(10.5%)	(14.3%)	+2.0%	+1.7%	+10.9%	-	
東南アジア	(14.7%)	(8.2%)	(5.5%)	(3.9%)	(2.4%)	(17.9%)	(16.6%)	(3.6%)	-	
欧米他	(16.4%)	+11.4%	(8.2%)	(13.0%)	(22.6%)	(37.3%)	(18.9%)	(10.4%)	-	
<b>売上高(前年比)</b>	<b>(17.7%)</b>	<b>(10.5%)</b>	<b>(14.7%)</b>	<b>(11.6%)</b>	<b>(15.8%)</b>	<b>(13.1%)</b>	<b>(5.4%)</b>	<b>+1.9%</b>	-	
日本	43.6%	39.9%	39.8%	41.6%	42.7%	33.8%	37.6%	38.5%	-	
中国	45.6%	48.6%	49.2%	47.0%	46.4%	57.0%	52.9%	51.1%	-	
東南アジア	4.1%	4.1%	4.6%	4.6%	4.8%	3.9%	4.0%	4.3%	-	
欧米他	6.6%	7.3%	6.4%	6.9%	6.1%	5.3%	5.5%	6.0%	-	
<b>売上高(構成比)</b>	<b>100.0%</b>	<b>100.0%</b>	<b>100.0%</b>	<b>100.0%</b>	<b>100.0%</b>	<b>100.0%</b>	<b>100.0%</b>	<b>100.0%</b>	-	

出所: 会社データ、弊社計算

業種別売上高（四半期累計／四半期）

業種別売上高 (百万円)	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	前年比 純増減
	1Q 03/2020	2Q累計 03/2020	3Q累計 03/2020	4Q累計 03/2020	1Q 03/2021	2Q累計 03/2021	3Q累計 03/2021	4Q累計 03/2021		
「自動車」	3,755	7,888	11,753	15,370	3,065	6,610	10,059	13,682	(1,688)	
「電子部品／半導体」	1,290	2,932	4,485	6,113	1,444	2,924	4,536	6,315	+202	
「家電／精密機器」	1,217	2,259	3,304	4,298	874	1,814	2,848	3,888	(410)	
「その他」	2,248	4,911	7,169	9,566	1,785	4,063	6,213	8,574	(992)	
<b>売上高</b>	<b>8,511</b>	<b>17,991</b>	<b>26,711</b>	<b>35,348</b>	<b>7,169</b>	<b>15,412</b>	<b>23,658</b>	<b>32,462</b>	<b>(2,886)</b>	
「自動車」	(18.6%)	(13.6%)	(13.8%)	(14.0%)	(18.4%)	(16.2%)	(14.4%)	(11.0%)	-	
「電子部品／半導体」	(34.8%)	(26.6%)	(24.1%)	(19.1%)	+11.9%	(0.3%)	+1.1%	+3.3%	-	
「家電／精密機器」	(0.6%)	(8.5%)	(10.1%)	(11.1%)	(28.2%)	(19.7%)	(13.8%)	(9.5%)	-	
「その他」	(11.0%)	(8.0%)	(9.9%)	(10.3%)	(20.6%)	(17.3%)	(13.3%)	(10.4%)	-	
<b>売上高(前年比)</b>	<b>(17.7%)</b>	<b>(14.1%)</b>	<b>(14.3%)</b>	<b>(13.6%)</b>	<b>(15.8%)</b>	<b>(14.3%)</b>	<b>(11.4%)</b>	<b>(8.2%)</b>	-	
「自動車」	44.1%	43.8%	44.0%	43.5%	42.8%	42.9%	42.5%	42.1%	-	
「電子部品／半導体」	15.2%	16.3%	16.8%	17.3%	20.1%	19.0%	19.2%	19.5%	-	
「家電／精密機器」	14.3%	12.6%	12.4%	12.2%	12.2%	11.8%	12.0%	12.0%	-	
「その他」	26.4%	27.3%	26.8%	27.1%	24.9%	26.4%	26.3%	26.4%	-	
<b>売上高(構成比)</b>	<b>100.0%</b>	<b>100.0%</b>	<b>100.0%</b>	<b>100.0%</b>	<b>100.0%</b>	<b>100.0%</b>	<b>100.0%</b>	<b>100.0%</b>	-	
業種別売上高 (百万円)	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	前年比 純増減
1Q 03/2020	2Q 03/2020	3Q 03/2020	4Q 03/2020	1Q 03/2021	2Q 03/2021	3Q 03/2021	4Q 03/2021			
「自動車」	3,755	4,132	3,864	3,617	3,065	3,544	3,448	3,623	+6	
「電子部品／半導体」	1,290	1,642	1,552	1,627	1,444	1,480	1,612	1,779	+152	
「家電／精密機器」	1,217	1,042	1,045	994	874	939	1,034	1,040	+46	
「その他」	2,248	2,662	2,257	2,397	1,785	2,277	2,150	2,361	(36)	
<b>売上高</b>	<b>8,511</b>	<b>9,480</b>	<b>8,720</b>	<b>8,636</b>	<b>7,169</b>	<b>8,243</b>	<b>8,245</b>	<b>8,803</b>	<b>+166</b>	
「自動車」	(18.6%)	(8.5%)	(14.1%)	(14.8%)	(18.4%)	(14.2%)	(10.8%)	+0.2%	-	
「電子部品／半導体」	(34.8%)	(18.6%)	(18.7%)	(1.5%)	+11.9%	(9.9%)	+3.9%	+9.3%	-	
「家電／精密機器」	(0.6%)	(16.4%)	(13.2%)	(14.5%)	(28.2%)	(9.9%)	(1.1%)	+4.6%	-	
「その他」	(11.0%)	(5.3%)	(13.7%)	(11.4%)	(20.6%)	(14.5%)	(4.7%)	(1.5%)	-	
<b>売上高(前年比)</b>	<b>(17.7%)</b>	<b>(10.5%)</b>	<b>(14.7%)</b>	<b>(11.6%)</b>	<b>(15.8%)</b>	<b>(13.1%)</b>	<b>(5.4%)</b>	<b>+1.9%</b>	-	
「自動車」	44.1%	43.6%	44.3%	41.9%	42.8%	43.0%	41.8%	41.2%	-	
「電子部品／半導体」	15.2%	17.3%	17.8%	18.8%	20.1%	18.0%	19.5%	20.2%	-	
「家電／精密機器」	14.3%	11.0%	12.0%	11.5%	12.2%	11.4%	12.5%	11.8%	-	
「その他」	26.4%	28.1%	25.9%	27.8%	24.9%	27.6%	26.1%	26.8%	-	
<b>売上高(構成比)</b>	<b>100.0%</b>	<b>100.0%</b>	<b>100.0%</b>	<b>100.0%</b>	<b>100.0%</b>	<b>100.0%</b>	<b>100.0%</b>	<b>100.0%</b>	-	

出所: 会社データ、弊社計算

## 貸借対照表（四半期）

貸借対照表 (百万円)	連結実績	前年比 純増減								
	1Q 03/2020	2Q 03/2020	3Q 03/2020	4Q 03/2020	1Q 03/2021	2Q 03/2021	3Q 03/2021	4Q 03/2021		
現金及び預金	2,704	2,310	3,327	3,389	3,702	3,796	3,976	4,092	+702	
受取手形及び売掛金	10,104	10,065	9,713	9,942	8,682	9,053	9,454	9,629	(312)	
たな卸資産	4,892	4,383	4,262	4,229	4,024	3,833	3,925	3,965	(264)	
その他	268	308	403	230	223	267	292	373	+143	
<b>流動資産</b>	<b>17,969</b>	<b>17,068</b>	<b>17,707</b>	<b>17,792</b>	<b>16,632</b>	<b>16,950</b>	<b>17,648</b>	<b>18,060</b>	<b>+268</b>	
有形固定資産	10,105	9,910	7,819	7,134	6,846	6,090	6,210	6,194	(940)	
無形固定資産	955	869	791	344	326	183	173	175	(169)	
投資その他の資産合計	763	774	226	304	292	264	266	272	(32)	
<b>固定資産</b>	<b>11,824</b>	<b>11,554</b>	<b>8,837</b>	<b>7,784</b>	<b>7,465</b>	<b>6,538</b>	<b>6,651</b>	<b>6,641</b>	<b>(1,142)</b>	
<b>資産合計</b>	<b>29,793</b>	<b>28,622</b>	<b>26,545</b>	<b>25,576</b>	<b>24,098</b>	<b>23,488</b>	<b>24,299</b>	<b>24,702</b>	<b>(874)</b>	
支払手形及び買掛金他	3,692	3,837	3,837	3,660	3,059	3,227	3,058	3,297	(362)	
短期借入金	3,844	3,235	3,304	3,148	3,422	3,146	3,248	3,324	+175	
その他	2,734	2,782	2,563	2,471	1,995	2,171	2,322	2,832	+361	
<b>流動負債</b>	<b>10,271</b>	<b>9,855</b>	<b>9,705</b>	<b>9,280</b>	<b>8,477</b>	<b>8,545</b>	<b>8,629</b>	<b>9,454</b>	<b>+174</b>	
長期借入金	2,187	2,064	3,132	2,927	2,739	2,582	2,413	1,251	(1,675)	
その他	1,588	1,579	1,616	1,621	1,593	1,571	1,702	1,559	(61)	
<b>固定負債</b>	<b>3,775</b>	<b>3,644</b>	<b>4,749</b>	<b>4,548</b>	<b>4,332</b>	<b>4,154</b>	<b>4,116</b>	<b>2,811</b>	<b>(1,737)</b>	
<b>負債合計</b>	<b>14,046</b>	<b>13,499</b>	<b>14,454</b>	<b>13,829</b>	<b>12,810</b>	<b>12,699</b>	<b>12,745</b>	<b>12,266</b>	<b>(1,563)</b>	
<b>株主資本</b>	<b>15,232</b>	<b>15,275</b>	<b>12,683</b>	<b>11,913</b>	<b>11,794</b>	<b>11,330</b>	<b>11,795</b>	<b>12,355</b>	<b>+441</b>	
その他合計	514	(153)	(592)	(166)	(506)	(541)	(241)	80	+247	
<b>純資産</b>	<b>15,747</b>	<b>15,122</b>	<b>12,090</b>	<b>11,747</b>	<b>11,287</b>	<b>10,788</b>	<b>11,553</b>	<b>12,436</b>	<b>+688</b>	
<b>負債純資産合計</b>	<b>29,793</b>	<b>28,622</b>	<b>26,545</b>	<b>25,576</b>	<b>24,098</b>	<b>23,488</b>	<b>24,299</b>	<b>24,702</b>	<b>(874)</b>	
自己資本	15,692	15,079	12,045	11,703	11,243	10,748	11,515	12,398	+695	
有利子負債	6,031	5,300	6,437	6,075	6,161	5,729	5,661	4,576	(1,499)	
ネットデット	3,327	2,989	3,109	2,686	2,459	1,933	1,685	484	(2,201)	
自己資本比率	52.7%	52.7%	45.4%	45.8%	46.7%	45.8%	47.4%	50.2%	-	
ネットデットエクイティ比率	21.2%	19.8%	25.8%	23.0%	21.9%	18.0%	14.6%	3.9%	-	
ROE(12ヵ月)	2.0%	(1.1%)	(23.3%)	(25.5%)	(25.5%)	(30.3%)	(7.2%)	4.0%	-	
ROA(12ヵ月)	5.7%	4.0%	1.9%	2.5%	3.0%	4.2%	6.0%	6.7%	-	
在庫回転日数	70	55	60	63	69	57	62	59	-	
当座比率	125%	126%	134%	144%	146%	150%	156%	145%	-	
流動比率	175%	173%	182%	192%	196%	198%	205%	191%	-	

出所：会社データ、弊社計算

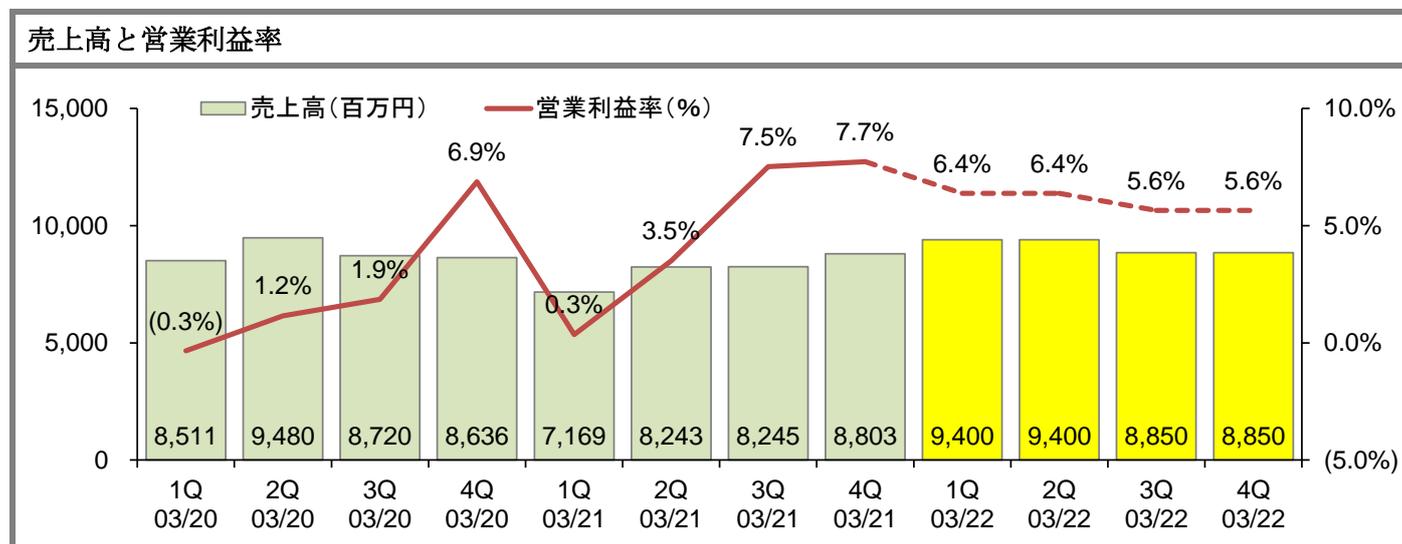
## キャッシュフロー計算書（四半期累計）

キャッシュフロー計算書 (百万円)	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	前年比 純増減
	1Q 03/2020	2Q累計 03/2020	3Q累計 03/2020	4Q累計 03/2020	1Q 03/2021	2Q累計 03/2021	3Q累計 03/2021	4Q累計 03/2021	
営業活動によるキャッシュフロー	-	1,009	-	2,490	-	1,215	-	2,942	+452
投資活動によるキャッシュフロー	-	(730)	-	(1,788)	-	(437)	-	(670)	+1,118
<b>営業活動によるCF+投資活動によるCF</b>	<b>-</b>	<b>278</b>	<b>-</b>	<b>701</b>	<b>-</b>	<b>778</b>	<b>-</b>	<b>2,272</b>	<b>+1,570</b>
財務活動によるキャッシュフロー	-	(1,381)	-	(772)	-	(363)	-	(1,684)	(912)

出所：会社データ、弊社計算

## 2022年3月期会社予想

2022年3月期に対する会社予想（開示：2021年5月13日）では、売上高 36,500 百万円（前年比 12.4%増）、営業利益 2,200 百万円（36.4%増）、経常利益 2,150 百万円（28.2%増）、親会社株主に帰属する当期純利益 1,450 百万円（203.5%増）が見込まれている。また、営業利益率 6.0%（1.1%ポイント上昇）が見込まれている。一方、第2四半期累計期間に対して売上高 18,800 百万円（前年同期比 22.0%増）、営業利益 1,200 百万円（283.2%増）、営業利益率 6.4%（4.4%ポイント上昇）が見込まれており、下半期に対して売上高 17,700 百万円（3.8%増）、営業利益 1,000 百万円（23.1%減）、営業利益率 5.6%（2.0%ポイント低下）が見込まれている。

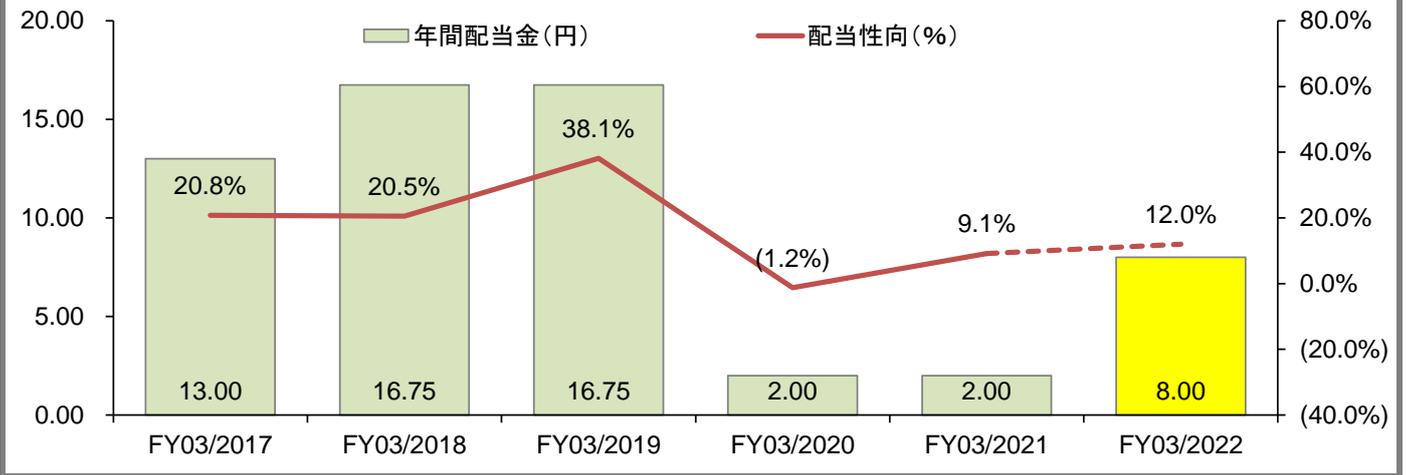


出所：会社データ、弊社計算（2022年3月期の四半期：半期会社予想を均等に按分）

会社予想の前提においては、世界経済の持ち直しが引き続き方向性にあることが織り込まれているのだが、予断を許さない状況にあるともされている。前者に関しては、新型コロナウイルス感染症の影響の拡大に際して発動されている各種の政策の効果が表れ始めていることが背景として挙げられている。一方、後者に関しては、直近の動向において断続的な感染拡大の波が発生していることに起因するリスクや米中貿易摩擦の再燃に起因する地政学的なリスクがあることが背景として挙げられている。結果、第2四半期累計期間においては基本的に直近の回復基調が引き続きことが想定されている模様なのだが、下半期に向けては上述のリスクによる影響が一定水準以上に及んで織り込まれている模様である。

換言すれば、保守的な前提に基づきつつも、2022年3月期に向けては通期で増収及び増益を確保できる方向性にあることが示唆されていると考えられよう。また、増収効果の発生に伴う売上総利益率の向上が織り込まれている一方、販売管理費の増加率は増収率と概ね同等となるまでに抑制することが想定されている模様である。2021年3月期においては、人件費の削減を1つの大きな要因とする販売管理費の減少が発生しているのだが、2022年3月期に向けては、一定水準に及ぶ人件費の正常化が想定されている模様である。

## 年間配当金と配当性向



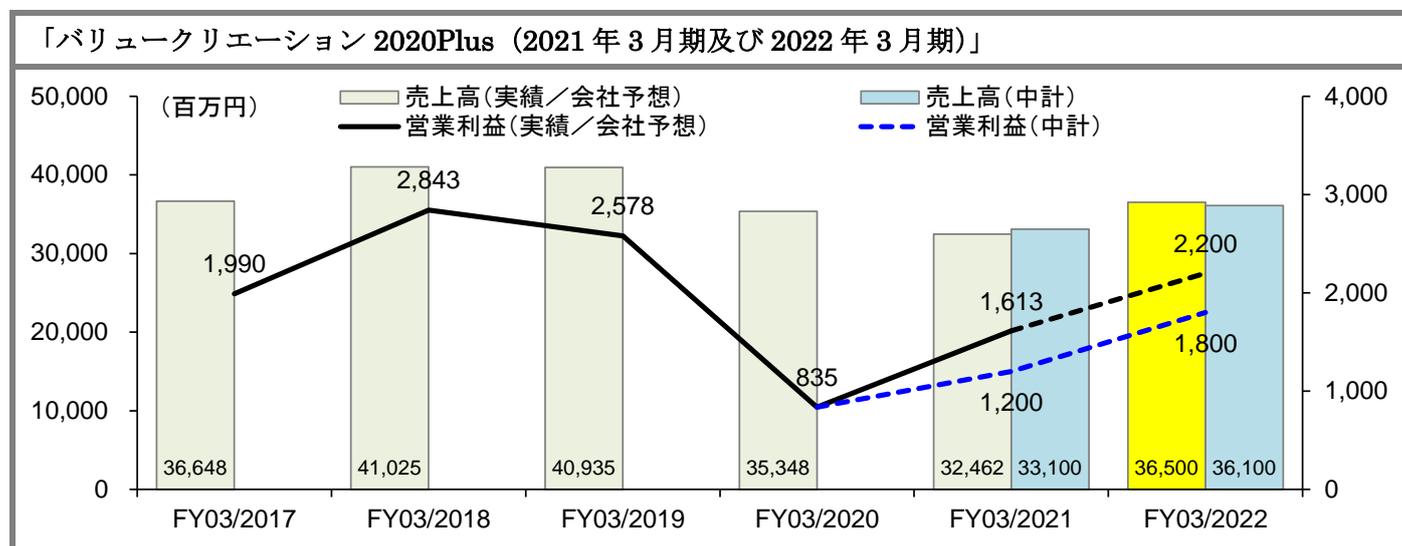
出所：会社データ、弊社計算

一方、2021年3月期に対して年間配当金2.00円（第2四半期末で0.00円、期末配当2.00円）が実施されているのに引き続いて、2022年3月期に対しては、6.00円の増配となる年間配当金8.00円（第2四半期末で4.00円、期末で4.00円）が実施される見通しである。

ステークホルダーとして、「取引先の皆様」、「従業員」、「地域社会」、「地球環境」、「株主・投資家の皆様」といった領域を掲げる同社は、多様な手法を用いてそれぞれの領域において貢献していけるよう積極的な取組みを展開することを通して、すべての領域における満足度の向上を図ることを重要視している。2022年3月期に向けての施策としては、保守的な前提を用いつつも通期を通じた着実な増収及び増益を確保することに邁進する一方、得られた利益の一部をできる範囲内で「従業員」及び「株主・投資家の皆様」に対して還元していくことが特に重要視されている模様である。

## 中長期業績見通し

2020年5月29日、同社は、中期経営計画「バリュークリエーション 2020Plus（2021年3月期及び2022年3月期）」を開示している。業績目標としては、2022年3月期に対して売上高で36,100百万円以上、営業利益で1,800百万円以上、親会社株主に帰属する当期純利益1,130百万円以上を達成することが掲げられていた。また、そもそもこの2ヶ年中期経営計画は、米中貿易摩擦の長期化や新型コロナウイルス感染症の影響の拡大に伴う業績推移の悪化に鑑みた、経営の立て直しに向けて策定されているとのことである。



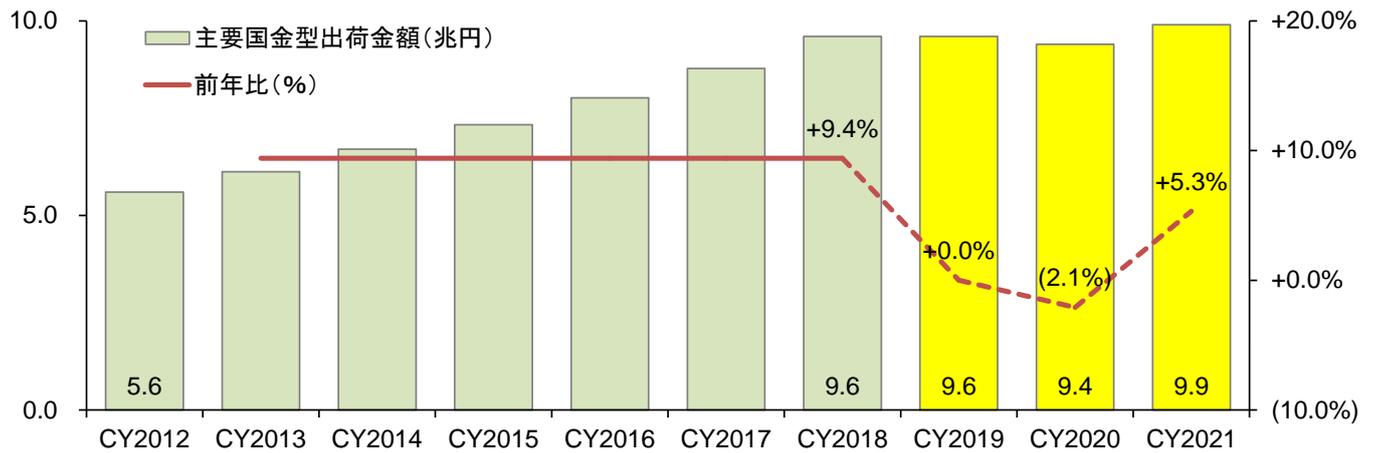
出所：会社データ、弊社計算

先述の通り、2022年3月期に対する会社予想（開示：2021年5月13日）では、売上高36,500百万円（前年比12.4%増）、営業利益2,200百万円（36.4%増）、親会社株主に帰属する当期純利益1,450百万円（203.5%増）が見込まれている。中期経営計画「バリュークリエーション 2020Plus」における業績目標の「以上」の幅は、売上高で400百万円（1.1%）、営業利益で400百万円（22.2%増）、親会社株主に帰属する当期純利益で320百万円（28.3%）となることが想定されるに至っていると考えられよう。「以上」の幅は、売上高に関しては限定的ともいえるのだが、損益面では大きくなっている。中期経営計画「バリュークリエーション 2020Plus」の前提に含まれていなかった減損処理による減価償却費の減額が大きな影響を及ぼしているとされている。先述の通り、2021年3月期の第2四半期末においては、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う日本における特注品に対する需要の減少を受けて、日本国内における固定資産に対して減損処理が行われている。

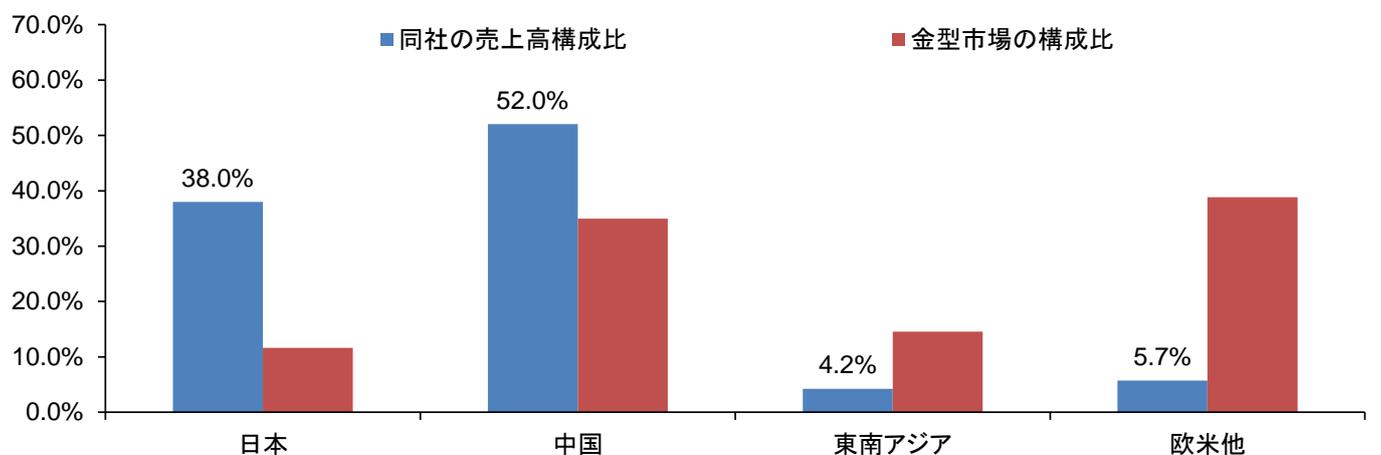
同社によれば、同社が対峙している金型用部品市場はグローバルベースで概ね700,000百万円ほどの規模を有している一方、中長期的な観点において成長を続けていく方向性が認められるとのことである。金型用部品は、文字通り金型に用いられる部品であり、その需要動向は金型に対する需要に沿って推移するとされている。また、金型用部品市場は、金型市場の概ね7%ほどに相当するとされている。

金型市場は、2012年から2018年に向けてグローバルベースの年平均で10%に近い成長率を示した一方、2019年においては2018年とほぼ同水準に留まったとのことである。背景として挙げられているのは、米中貿易摩擦の影響を受けて米州及び中国で金型市場が伸び悩んだことである。中国における金型市場に深く関与している同社においては、ここからの影響がかなり大きくならざるを得なかった模様である。そして、2020年の金型市場は、全般的に新型コロナウイルス感染症の影響を受けて縮小することを余儀なくされたとのことである。ただし、一時的な現象に留まり、2021年に入ってからからの動向としては回復傾向が認められるに至っているとのことである。また、これに伴い金型用部品に対する需要も回復傾向を示しているとされている。

## 金型市場の予想（金額）



## 金型市場の地域別構成比（2021年）と同社の地域別売上高構成比（2021年3月期の実績）



出所：会社データ（[2021年3月期決算概要](#)の11頁：各国の金型工業会2019年最新データを基に過去に遡及して数値を修正／2019年～2021年：同社推定）、弊社計算、弊社推測

金型市場及び金型用部品市場における新型コロナウイルス感染症の影響は減衰する方向性にあるのだが、未だ従来通りに訪問営業を展開するのは時期尚早とのことである。特に新規開拓に向けての見込み顧客の訪問が困難な状況が引き続いているとされている。ただし、こういった状況下においても、同社は、中期経営計画「バリュークリエーション 2020Plus」の重点経営課題に粛々と取り組んでいくことや「経営革新プロジェクト」の進捗を促すことを通して、中長期的な成長に向けての礎を築いていくとしている。

「バリュークリエーション 2020Plus」の重要課題と現状における取組み内容は、下記の通りである。「販売5極体制の確立」に向けては、特に今後に向けての開拓余地が大きい欧米での販売政策の強化を進めているとのことである。欧州では現地の販売代理店との連携強化を進めている一方、米州ではインターネットを通じた販売促進を強化しているとのことである。同社としての地域別売上高は、製造拠点が集中する①中国及び②日本に集中しており、③東南アジア、④欧州、⑤米州には、今後に向けての大きな開拓余地が残されている。また、以上の①～⑤が、「販売5極体制」における「5極」である。

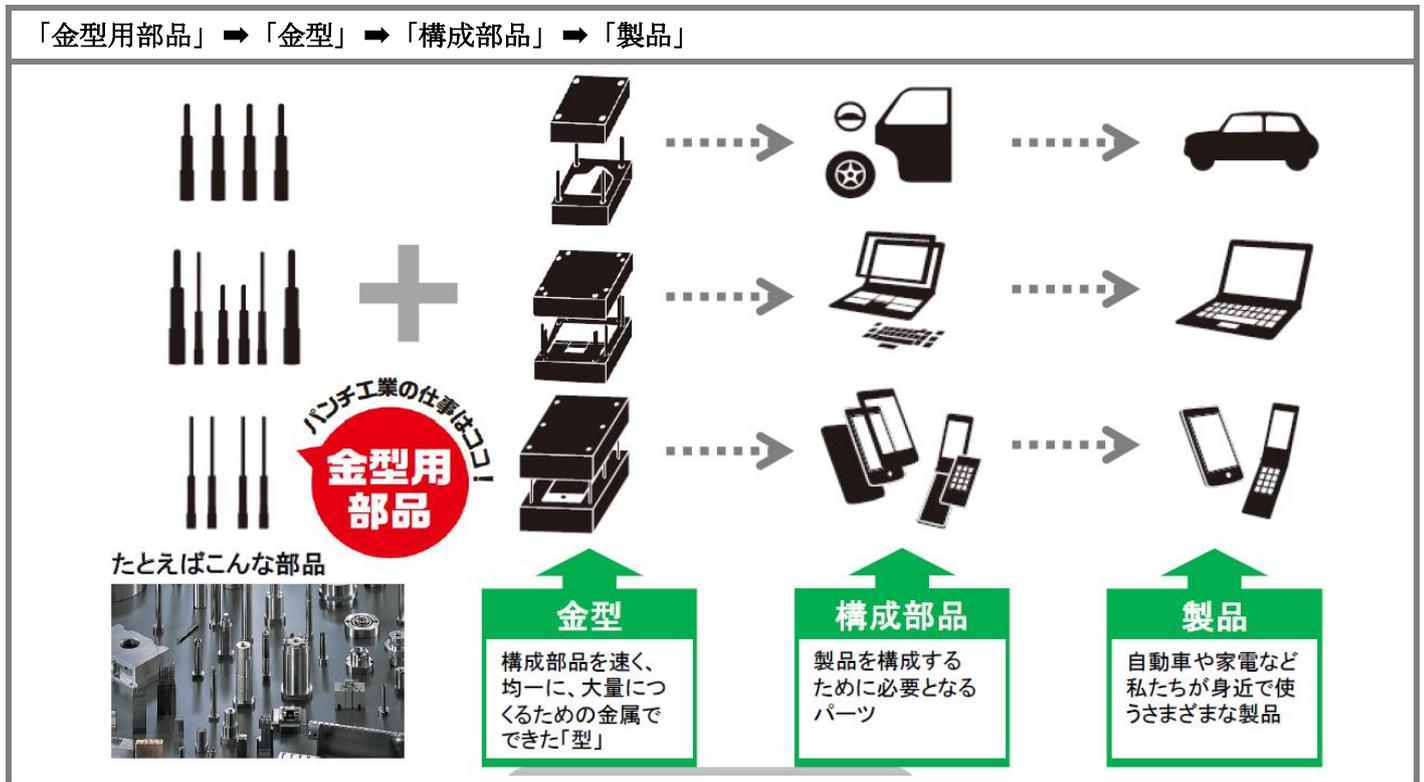
「お客様目線を重視した営業力の強化」に向けては、失注改善や新規開拓に注力している一方、Web販売を通じたカタログ品の拡販やWeb見積りシステムの検証などにも注力しているとのことである。「グローバル生産体制の最適化とR&D強化」に向けては、グループ内での生産移管を通じた会社としての生産性向上（生産の最適化）を進めている一方、仕損費の削減や工法の改善、加工能力の拡充にも引き続き注力しているとのことである。「働き方改革と人材育成」に向けては、女性の活躍を推進することを目的とした会社の方針を策定したことに加えて、人材のローテーションや人材教育の仕組み作りを進めているとのことである。

一方、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた日本で展開されている「経営革新プロジェクト」では、「原価低減」及び「失敗コスト撲滅」が主要課題として掲げられている。また、会社によれば、外部環境の変化に負けない強靱な経営体質を構築すべく、営業戦略や製造戦略の再構築に取り組んでおり、短期的な固定費削減などによる縮小均衡ではなく、代表取締役である森久保哲司氏を中心とする経営陣による指揮の下で全社員が丸となって持続的に利益を出し続けられる仕組みをつくり、中長期的な企業価値の向上を目指しているとのことである。基本的には、中長期的な観点に基づいた施策なのだが、短期的にも成果が創出されているところもあり、先述の通り2021年3月期における損益向上に対しても一定の寄与が認められるとのことである。

## 4.0 ビジネスモデル

### 金型用部品の生産・販売を内外で展開

同社は、金型用部品の生産及び販売を内外で展開している。金型用部品とは、金型を形成する必要不可欠な精密部品のことである。また、金型とは、あらゆる民生用の最終製品や自動車などを構成する部品（構成部品）を均一かつ大量に生産するための金属でできた「型」のことである。最終製品が顕著に多種多様であることから、それらを文字通り構成する構成部品も金型も同様に多種多様であり、金型用部品においても同様である。



出所：会社データ

## 金型用部品

同社が生産及び販売する金型用部品は、プラスチック金型及びプレス金型に用いられている。弊社が概算で推測するところによれば、プラスチック金型向けで売上高構成比 40%、プレス金型向けで売上高構成比 60%である。また、プレス金型向けに対してプラスチック金型向けは、付加価値創造の度合いや売上総利益率が高いとされており、売上総利益の側面においては、両者の比率が逆転する。即ち、プラスチック金型向けで売上総利益構成比 60%、プレス金型向けで売上総利益構成比 40%である。

### プラスチック金型用部品

#### エジェクタピン



#### スプルーブシュ・ロケートリング



出所：会社データ

プラスチック金型とは、スマートフォンやデジタルカメラの外装など、多様な構成部品の製造に用いられる金型であり、加熱溶融したプラスチック樹脂を射出成型機に実装された金型に注入し、冷却、固化することにより作られている。同社では、広範な構成部品の射出成型用金型に組み込まれるエジェクタピン（成型品を金型から離し、突き出すための部品）やスプルーブシュ（射出成型機の射出ノズルから溶融したプラスチックを金型へ流し込むための部品）などのプラスチック金型用部品の製造・販売を行っているとのことである。

19

### プレス金型用部品

#### パンチ



#### ダイセットガイド



出所：会社データ

一方、プレス金型とは、自動車、家電、精密機器などの構成部品を大量生産するために必要な金型であり、プレス機（上下運動する機械）に金型を装着し、上下に分かれた金型の上に材料（金属の鋼板）を入れ、プレス機を稼働することにより作られている。同社では、プレス加工で使用されるパンチ（材料に穴を空ける、形状を転写する部品）やダイセットガイド（上型と下型の関係を正しく保つために使用する部品）などのプレス金型用部品の製造・販売を行っているとのことである。

## カタログ品と特注品

また、同社が生産及び販売する金型用部品には、カタログ品（インターネットなど活用を通して販売する標準製品）及び特注品（個々の顧客のそれぞれの金型のスペックに対応して設計及び生産されるカスタム製品）で構成されている側面もある。弊社が概算で推測するところによれば、カタログ品で売上高構成比 45%、特注品で売上高構成比 55%である。カタログ品に対して特注品は、付加価値創造の度合い及び売上総利益率がかかなり高いとされている。カタログ品に関しては、同業他社の製品との差別化余地が限られているものの、特注品においては、同社の技術力をもって差別化していける余地が大きいとのことである。なかでも同社の技術力が活かせる余地が特に大きい特注品に対しては、戦略的な注力が行われており、高付加価値の戦略製品と呼ばれている。

また、同社は、高付加価値の戦略製品を含む特注品の生産に深く関与している一方、カタログ品に関しては効率的な協力工場の利用を展開している側面もあるとされている。協力工場は基本的に小規模事業者であるが、それぞれが特定の得意分野を持っていることが特徴となっている。また、同社は、こういった協力工場を束ねるネットワークを築いており、例えば、特注品の生産においても特定の生産工程に関しては、それを得意とする協力工場に委託している場合もあるとのことである。

## 5.0 財務諸表

### 損益計算書

損益計算書 (百万円)	連結実績 通期 03/2017	連結実績 通期 03/2018	連結実績 通期 03/2019	連結実績 通期 03/2020	連結実績 通期 03/2021	連結予想 通期 03/2022	前年比 純増減
<b>売上高</b>	<b>36,648</b>	<b>41,025</b>	<b>40,935</b>	<b>35,348</b>	<b>32,462</b>	<b>36,500</b>	<b>+4,037</b>
売上原価	26,457	29,367	29,463	26,161	23,375	-	-
売上総利益	10,191	11,658	11,472	9,187	9,086	-	-
販売費及び一般管理費	8,201	8,814	8,893	8,351	7,473	-	-
<b>営業利益</b>	<b>1,990</b>	<b>2,843</b>	<b>2,578</b>	<b>835</b>	<b>1,613</b>	<b>2,200</b>	<b>+586</b>
営業外損益	(116)	(111)	(31)	(122)	63	(50)	(113)
<b>経常利益</b>	<b>1,874</b>	<b>2,731</b>	<b>2,547</b>	<b>712</b>	<b>1,676</b>	<b>2,150</b>	<b>+473</b>
特別損益	(44)	(215)	(897)	(3,332)	(662)	-	-
税金等調整前純利益	1,830	2,516	1,650	(2,619)	1,014	-	-
法人税等合計	459	725	686	866	535	-	-
非支配株主に帰属する純利益	(5)	1	3	0	1	-	-
<b>親会社株主に帰属する当期純利益</b>	<b>1,375</b>	<b>1,788</b>	<b>960</b>	<b>(3,485)</b>	<b>477</b>	<b>1,450</b>	<b>+972</b>
売上高伸び率	(0.3%)	+11.9%	(0.2%)	(13.6%)	(8.2%)	+12.4%	-
営業利益伸び率	+0.2%	+42.8%	(9.3%)	(67.6%)	+93.0%	+36.4%	-
経常利益伸び率	+12.5%	+45.7%	(6.8%)	(72.0%)	+135.1%	+28.2%	-
親会社株主に帰属する当期純利益伸び率	+10.1%	+30.0%	(46.3%)	-	-	+203.5%	-
売上総利益率	27.8%	28.4%	28.0%	26.0%	28.0%	-	-
売上高販売管理費率	22.4%	21.5%	21.7%	23.6%	23.0%	-	-
営業利益率	5.4%	6.9%	6.3%	2.4%	5.0%	6.0%	+1.1%
経常利益率	5.1%	6.7%	6.2%	2.0%	5.2%	5.9%	+0.7%
親会社株主に帰属する当期純利益率	3.8%	4.4%	2.3%	(9.9%)	1.5%	4.0%	+2.5%
法人税等合計/税金等調整前純利益	25.1%	28.8%	41.6%	-	52.8%	-	-

出所: 会社データ、弊社計算

### 地域別売上高

地域別売上高 (百万円)	連結実績 通期 03/2017	連結実績 通期 03/2018	連結実績 通期 03/2019	連結実績 通期 03/2020	連結実績 通期 03/2021	連結予想 通期 03/2022	前年比 純増減
日本	15,903	17,153	16,776	14,565	12,338	-	-
中国	17,428	20,100	19,898	16,836	16,888	-	-
東南アジア	-	1,652	1,669	1,535	1,376	-	-
欧米他	-	2,112	2,588	2,410	1,858	-	-
<b>売上高</b>	<b>36,648</b>	<b>41,025</b>	<b>40,935</b>	<b>35,348</b>	<b>32,462</b>	<b>36,500</b>	<b>+4,037</b>
日本	+1.7%	+7.9%	(2.2%)	(13.2%)	(15.3%)	-	-
中国	(2.1%)	+15.3%	(1.0%)	(15.4%)	+0.3%	-	-
東南アジア	-	-	+1.0%	(8.1%)	(10.3%)	-	-
欧米他	-	-	+22.5%	(6.9%)	(22.9%)	-	-
<b>売上高(前年比)</b>	<b>(0.3%)</b>	<b>+11.9%</b>	<b>(0.2%)</b>	<b>(13.6%)</b>	<b>(8.2%)</b>	<b>+12.4%</b>	<b>-</b>
日本	43.4%	41.8%	41.0%	41.2%	38.0%	-	-
中国	47.6%	49.0%	48.6%	47.6%	52.0%	-	-
東南アジア	-	4.0%	4.1%	4.3%	4.2%	-	-
欧米他	-	5.1%	6.3%	6.8%	5.7%	-	-
<b>売上高(構成比)</b>	<b>100.0%</b>	<b>100.0%</b>	<b>100.0%</b>	<b>100.0%</b>	<b>100.0%</b>	<b>100.0%</b>	<b>-</b>

出所: 会社データ、弊社計算

## 業種別売上高

業種別売上高 (百万円)	連結実績 通期 03/2017	連結実績 通期 03/2018	連結実績 通期 03/2019	連結実績 通期 03/2020	連結実績 通期 03/2021	連結予想 通期 03/2022	前年比 純増減
「自動車」	16,780	18,390	17,877	15,370	13,682	-	-
「電子部品／半導体」	7,000	7,890	7,558	6,113	6,315	-	-
「家電／精密機器」	4,480	4,790	4,837	4,298	3,888	-	-
「その他」	8,400	9,946	10,662	9,566	8,574	-	-
<b>売上高</b>	<b>36,648</b>	<b>41,025</b>	<b>40,935</b>	<b>35,348</b>	<b>32,462</b>	<b>36,500</b>	<b>+4,037</b>
「自動車」	(1.6%)	+9.7%	(2.8%)	(14.0%)	(11.0%)	-	-
「電子部品／半導体」	+6.9%	+13.0%	(4.3%)	(19.1%)	+3.3%	-	-
「家電／精密機器」	(6.7%)	+7.1%	+1.0%	(11.1%)	(9.5%)	-	-
「その他」	+1.2%	+18.4%	+7.2%	(10.3%)	(10.4%)	-	-
<b>売上高(前年比)</b>	<b>(0.3%)</b>	<b>+11.9%</b>	<b>(0.2%)</b>	<b>(13.6%)</b>	<b>(8.2%)</b>	<b>+12.4%</b>	-
「自動車」	45.8%	44.9%	43.7%	43.5%	42.1%	-	-
「電子部品／半導体」	19.1%	19.3%	18.5%	17.3%	19.5%	-	-
「家電／精密機器」	12.6%	11.7%	11.8%	12.2%	12.0%	-	-
「その他」	22.9%	24.2%	26.0%	27.1%	26.4%	-	-
<b>売上高(構成比)</b>	<b>100.0%</b>	<b>100.0%</b>	<b>100.0%</b>	<b>100.0%</b>	<b>100.0%</b>	<b>100.0%</b>	-

出所:会社データ、弊社計算

## 1株当たりデータ

1株当たりデータ (株式分割調整前) (円)	連結実績 通期 03/2017	連結実績 通期 03/2018	連結実績 通期 03/2019	連結実績 通期 03/2020	連結実績 通期 03/2021	連結予想 通期 03/2022	前年比 純増減
期末発行済株式数(千株)	11,061	22,122	22,122	22,122	22,122	-	-
当期純利益／EPS(千株)	11,008	21,921	21,864	21,786	21,813	-	-
期末自己株式数(千株)	100	200	380	313	303	-	-
1株当たり当期純利益	124.99	81.61	43.92	(160.01)	21.90	66.46	-
(潜在株式調整後)	124.84	81.35	43.74	-	21.78	-	-
1株当たり純資産	1292.50	736.64	721.49	536.64	568.26	-	-
1株当たり配当金	26.00	16.75	16.75	2.00	2.00	8.00	-
1株当たりデータ (株式分割調整後) (円)	連結実績 通期 03/2017	連結実績 通期 03/2018	連結実績 通期 03/2019	連結実績 通期 03/2020	連結実績 通期 03/2021	連結予想 通期 03/2022	前年比 純増減
株式分割ファクター	2	1	1	1	1	1	-
1株当たり当期純利益	62.50	81.61	43.92	(160.01)	21.90	66.46	-
1株当たり純資産	646.25	736.64	721.49	536.64	568.26	-	-
1株当たり配当金	13.00	16.75	16.75	2.00	2.00	8.00	-
配当性向	20.8%	20.5%	38.1%	(1.2%)	9.1%	12.0%	-

出所:会社データ、弊社計算

## 貸借対照表

貸借対照表 (百万円)	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結予想 通期 03/2022	前年比 純増減
	通期 03/2017	通期 03/2018	通期 03/2019	通期 03/2020	通期 03/2021		
現金及び預金	3,280	3,770	3,579	3,389	4,092	-	-
受取手形及び売掛金	11,468	12,095	10,988	9,942	9,629	-	-
たな卸資産	3,787	4,425	4,663	4,229	3,965	-	-
その他	613	549	327	230	373	-	-
<b>流動資産</b>	<b>19,150</b>	<b>20,842</b>	<b>19,559</b>	<b>17,792</b>	<b>18,060</b>	-	-
有形固定資産	8,669	9,939	9,972	7,134	6,194	-	-
無形固定資産	1,242	1,157	1,001	344	175	-	-
投資その他の資産合計	389	621	621	304	272	-	-
<b>固定資産</b>	<b>10,301</b>	<b>11,718</b>	<b>11,595</b>	<b>7,784</b>	<b>6,641</b>	-	-
<b>資産合計</b>	<b>29,451</b>	<b>32,560</b>	<b>31,155</b>	<b>25,576</b>	<b>24,702</b>	-	-
支払手形及び買掛金他	4,287	4,597	4,148	3,660	3,297	-	-
短期借入金	4,346	3,730	4,326	3,148	3,324	-	-
その他	3,090	4,322	3,056	2,471	2,832	-	-
<b>流動負債</b>	<b>11,724</b>	<b>12,649</b>	<b>11,531</b>	<b>9,280</b>	<b>9,454</b>	-	-
長期借入金	2,460	2,151	2,341	2,927	1,251	-	-
その他	1,089	1,584	1,547	1,621	1,559	-	-
<b>固定負債</b>	<b>3,550</b>	<b>3,736</b>	<b>3,889</b>	<b>4,548</b>	<b>2,811</b>	-	-
<b>負債合計</b>	<b>15,275</b>	<b>16,385</b>	<b>15,420</b>	<b>13,829</b>	<b>12,266</b>	-	-
<b>株主資本</b>	<b>13,598</b>	<b>15,096</b>	<b>15,500</b>	<b>11,913</b>	<b>12,355</b>	-	-
その他合計	578	1,077	234	(166)	80	-	-
<b>純資産</b>	<b>14,176</b>	<b>16,174</b>	<b>15,734</b>	<b>11,747</b>	<b>12,436</b>	-	-
<b>負債純資産合計</b>	<b>29,451</b>	<b>32,560</b>	<b>31,155</b>	<b>25,576</b>	<b>24,702</b>	-	-
自己資本	14,167	16,148	15,686	11,703	12,398	-	-
有利子負債	6,807	5,882	6,668	6,075	4,576	-	-
ネットデット	3,526	2,111	3,088	2,686	484	-	-
自己資本比率	48.1%	49.6%	50.4%	45.8%	50.2%	-	-
ネットデットエクイティ比率	24.9%	13.1%	19.7%	23.0%	3.9%	-	-
ROE(12ヵ月)	9.8%	11.8%	6.0%	(25.5%)	4.0%	11.1%	-
ROA(12ヵ月)	6.6%	8.8%	8.0%	2.5%	6.7%	-	-
在庫回転日数	52	55	58	59	62	-	-
当座比率	126%	125%	126%	144%	145%	-	-
流動比率	163%	165%	170%	192%	191%	-	-

出所:会社データ、弊社計算

## キャッシュフロー計算書

キャッシュフロー計算書 (百万円)	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結予想 通期 03/2022	前年比 純増減
	通期 03/2017	通期 03/2018	通期 03/2019	通期 03/2020	通期 03/2021		
営業活動によるキャッシュフロー	1,785	3,393	3,185	2,490	2,942	-	-
投資活動によるキャッシュフロー	(2,770)	(2,335)	(3,253)	(1,788)	(670)	-	-
<b>営業活動によるCF+投資活動によるCF</b>	<b>(985)</b>	<b>1,058</b>	<b>(68)</b>	<b>701</b>	<b>2,272</b>	-	-
財務活動によるキャッシュフロー	1,199	(738)	74	(772)	(1,684)	-	-

出所:会社データ、弊社計算

## 6.0 その他の情報

### 金型部品業界でのトップブランドを確立

企業ビジョンを「金型部品業界でのトップブランドを確立し、製販一体企業としての優位性を活かした高収益企業を目指す」としている同社は、森久保有司氏（2015年6月24日付で名誉会長に就任）によって創業されている。1975年3月、東京都品川区において神庭商会株式会社を設立した同氏は、プリント基板用穴あけピン生産を始めている。また、これに引き続いて、1977年8月、商号をパンチ工業株式会社に変更し現在の同社の事業を開始している。

1982年8月、同社は、世界で初めてハイスエジクタピンの量産化に成功し、プラスチック金型用部品の生産及び販売に本格的な進出し始めている。これに先立っては、基本的に金型用部品の仕入販売を行っていたとのことである。そして、1990年10月には、中国大連で生産拠点が新設されている。当初は日本から輸入した原材料を半製品に加工して日本で改めて加工するための拠点到過ぎなかったのだが、現地における家電製品や自動車の生産拡大を受けて、2002年4月より現地で生産された金型用部品の現地での販売が開始されるに至っている。また、2012年12月の東京証券取引所第2部への上場に引き続いて、同社は、2014年3月、東京証券取引所第1部銘柄に指定されている。

一方、2019年11月1日、森久保哲司氏が代表取締役社長執行役員 CEO に就任している。同氏が確信しているところによれば、現状において同社が為すべきは、「我々に出来るからそれを受注する」のではなく、「お客様が求めているものに答えるために我々が変わっていく」こととすることである。即ち、「製販一体企業としての優位性」を活かしてお客様の困りごとに積極的に対処していく所存であることが明らかにされている。そして、「金型部品業界でのトップブランド」とは、常にお客様にとっての第一候補となるブランドのことであるとされており、これを達成していくことこそが、同氏が最重要視している経営課題である。

## 沿革

年月	事項
1975年3月	創業、プリント基板用穴あけピン生産
1982年8月	プラスチック金型用部品に進出（ハイスエジクタピンの量産化に成功）
1983年11月	北上工場設置、同年12月に金型用部品の全国販売を開始
1989年5月	宮古パンチ工業（現：宮古工場）設立
1990年10月	中国大連に製造拠点設立
2001年7月	中国国内に販売拠点設置、翌2002年に中国国内で金型用部品販売を開始
2010年9月	インドに販売拠点設立
2012年12月	東京証券取引所市場第2部上場
2013年8月	パンサー社（現：マレーシア工場）をグループ会社化
2013年11月	中期経営計画「バリュークリエーション15」公表
2014年3月	東京証券取引所市場第1部銘柄に指定
2015年3月	創業40周年
2015年12月	ベトナムに製造拠点（ベトナム工場）設立
2016年3月	中期経営計画「バリュークリエーション2020」公表
2016年10月	ベトナム工場本稼働開始
2017年4月	米国販売会社の営業開始
2018年5月	中国大連の製造拠点で増設
2019年3月	ベトナム工場、第2フェーズ開始
2020年5月	中期経営計画「バリュークリエーション2020Plus」公表
2020年11月	「経営革新プロジェクト」開始

### Disclaimer

ここでの情報は、ウォールデンリサーチジャパンが当該事業会社の発信する「IR情報」を中立的かつ専門的な立場から要約して、レポート形式にまとめたものである。「IR情報」とは、即ち、当該事業会社に係る①弊社との個別取材の内容、②機関投資家向け説明会の内容、③適時開示情報、④ホームページの内容などである。

商号：株式会社ウォールデンリサーチジャパン

本店所在地：〒104-0061 東京都中央区銀座6丁目14番8号 銀座石井ビル4階

URL：[www.walden.co.jp](http://www.walden.co.jp)

E-mail：[info@walden.co.jp](mailto:info@walden.co.jp)

Tel: 03-3553-3769